

平成27年度 当初予算 (案)

# 主な事業の説明書

総務部  
選挙管理委員会

.....目

次.....

款	項	目	大	事業	ページ
2	1	2	16	アーカイブズ関係経費	1 - 1
2	4	3	10	秋田県議会議員選挙執行経費	1 - 2
9	1	2	1	消防団員報酬	1 - 3
9	1	3	11	消防施設・設備整備費	1 - 4
9	1	5	13	総合防災訓練費	1 - 5
9	1	5	40	災害に強いまちづくり事業費	1 - 6

# 事 業 説 明 書

2 款 1 項 2 目 16 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 総務部総務課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の普及啓発と史料の整備

<b>【事業名】</b> アーカイブズ関係経費				
<b>【説明項目】</b> 公文書館の設置等について				
<b>【27年度】</b> 12,338 千円		<b>【26年度】</b> 7,308 千円		<b>【増減額】</b> 5,030 千円
<b>1. 事業の目的及び目標</b>				
<p>行政運営上の役目を終えた（非現用）公文書及び歴史資料のうち、市政及び市民の営みを伝える歴史資料として重要なものを評価選別のうえ保存し、市民及び職員の閲覧などに供するほか、これに関連する調査研究を行うことにより、「市民の知る権利」や「後世への説明責任」に応え、市民及び職員が市の営みを正しく理解し、未来のあり方について考える機会を確保するほか、無用の紛争を回避し、あるいは問題を解決する証拠として、現在の住民生活や行政活動に資することを目的とする。</p> <p>目標は以下のとおりとする。</p> <p>①大仙市公文書館（仮称）を設置する。                  ②行政運営上の役目を終えた公文書を評価選別し、歴史資料として重要なものを保存し、市民等の利用に供するほか、これに関連する調査研究を行う。</p>				
<b>2. 事業の概要</b>				
<p>①公文書館の設置… 平成27年度 実施設計、全庁職員を対象とした公文書管理研修の実施                  ②公文書館設置準備室（仙北庁舎）… 平成26年度設置                  ③非現用公文書の評価選別 … 平成27年度 仙北支所ほか（対象簿冊 約17,000冊）                  ④歴史資料調査 … 平成27年度 池田家文書（仙北地域）、斉藤善兵衛家文書・大沢郷村行政文書（西仙北地域）                  ⑤歴史資料利活用 … 平成28年度以降                  ※平成28年度に旧双葉小学校（強首字上野台1）を改修して公文書館を設置する。                  ※歴史資料については、目録化・デジタルデータ化のほか、市民ボランティアの協力を得て整理・解読も行っている。また、大学教授の指導のもと歴史資料調査を実施している。特に池田家文書の調査では、近世・近代における地主形成の過程を明らかにするとともに、秋田藩政の具体的な統治のあり方の解明を目指す。</p>				
<b>3. これまでの成果と今後の方向性</b>				
<p>・こまでの主な成果</p> <p>①公文書の目録化により職員の文書検索に伴うコストを削減し、未返却等による文書の散逸も防いでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁文書（旧大曲市文書含む）6,770件（明治16年から平成24年まで129年分）</li> <li>・中仙支所文書（旧町文書含む）6,176件（明治14年から平成21年まで128年分）</li> <li>・太田支所文書（旧町文書含む）5,537件（明治22年から平成17年まで116年分）</li> </ul> <p>②歴史資料の目録化（3万件超）のほか、歴史資料のデジタルデータ化（平成24年度 2,262ファイル、59,882コマ、平成25年度 719ファイル、61,082コマ）を行っている。解読作業を継続している。</p> <p>・今後の方向性</p> <p>①公文書については、神岡・西仙北・協和・南外・仙北支所にある旧町村文書を中心に早期に目録化を進める。                  ②歴史資料については、市民ボランティアの協力のもと、歴史資料の整理・解読を進めるほか、蓄積された情報を刊行物やインターネット等で市民の利用に供する。                  ③歴史資料を一箇所保存・活用できるよう平成28年度の公文書館設置を目指す。</p> <p>※全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会が、大仙市を会場に平成27年11月12日（木）から13日（金）まで開催される。全国の公文書館・図書館・博物館等の歴史資料を扱う全国の自治体・大学・研究機関等の職員を中心に学生や市民が毎年300人前後集まり開催されている。平成26年度は福岡県福岡市で開催された。</p>				
<p>《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》</p> <p>各支所における歴史資料の分散管理は、保存や利用上の問題が多いことから、これを解消するため、公文書館を設置する。</p>				<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p>拡大</p>
<b>4. 財源内訳</b>				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
12,338	3,232	3,000		6,106
<p>【国県支出金】 14款2項6目 社会資本整備総合交付金                  【市 債】 21款1項1目 公文書館整備事業債</p>				

# 事業説明書

2 款 4 項 3 目 10 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 選挙管理委員会事務局

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

<b>【事業名】</b>	秋田県議会議員選挙執行経費																																																
<b>【説明項目】</b>	秋田県議会議員選挙の執行について																																																
<b>【27年度】</b>	34,759 千円	<b>【26年度】</b>	11,963 千円	<b>【増減額】</b> 22,796 千円																																													
<b>1. 事業の目的及び目標</b>																																																	
<p>目的：平成27年4月12日執行の秋田県議会議員一般選挙の管理執行を行うもの。                  目標：大仙市仙北郡選挙区における立候補者について、大仙市開票区における得票数を確定させる。</p>																																																	
<b>2. 事業の概要</b>																																																	
<p>◇告示日：平成27年4月3日                  ◇期日前投票：平成27年4月4日～11日（8日間）                  ◇投票日：平成27年4月12日 午前7時～午後7時 市内67ヶ所                  ◇開票：午後8時30分～ 大曲体育館</p> <p>※平成26年12月2日現在定時登録者数                  男：34,202人 女：39,812人 <b>計：74,014人</b></p>																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 15%;">予算額（千円）</th> <th colspan="3">主な使途内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>投票所経費</td> <td style="text-align: right;">15,615</td> <td colspan="3">当日投票管理者及び立会人報酬、事務従事者時間外手当、人夫賃金、投票所借上料、投票箱送致タクシー代等</td> </tr> <tr> <td>期日前投票所経費</td> <td style="text-align: right;">10,627</td> <td colspan="3">期日前投票管理者及び立会人報酬、期日前事務従事者時間外手当、臨時職員賃金等</td> </tr> <tr> <td>開票所経費</td> <td style="text-align: right;">3,146</td> <td colspan="3">開票管理者及び立会人報酬、開票事務従事者時間外手当、投票用紙読取機候補者ファイル作成、開票会場舗設撤去等業務委託等</td> </tr> <tr> <td>選挙公報発行経費</td> <td style="text-align: right;">173</td> <td colspan="3">選挙公報の新聞折込手数料</td> </tr> <tr> <td>候補者氏名掲示経費</td> <td style="text-align: right;">40</td> <td colspan="3">記載台用氏名掲示印刷代</td> </tr> <tr> <td>ポスター掲示場費</td> <td style="text-align: right;">1,911</td> <td colspan="3">ポスター掲示板撤去・維持管理費用等</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">3,247</td> <td colspan="3">選挙啓発用看板及び選挙関連事務消耗品等、入場券郵便料等</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">34,759</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>					項目	予算額（千円）	主な使途内容			投票所経費	15,615	当日投票管理者及び立会人報酬、事務従事者時間外手当、人夫賃金、投票所借上料、投票箱送致タクシー代等			期日前投票所経費	10,627	期日前投票管理者及び立会人報酬、期日前事務従事者時間外手当、臨時職員賃金等			開票所経費	3,146	開票管理者及び立会人報酬、開票事務従事者時間外手当、投票用紙読取機候補者ファイル作成、開票会場舗設撤去等業務委託等			選挙公報発行経費	173	選挙公報の新聞折込手数料			候補者氏名掲示経費	40	記載台用氏名掲示印刷代			ポスター掲示場費	1,911	ポスター掲示板撤去・維持管理費用等			事務費	3,247	選挙啓発用看板及び選挙関連事務消耗品等、入場券郵便料等			合計	34,759			
項目	予算額（千円）	主な使途内容																																															
投票所経費	15,615	当日投票管理者及び立会人報酬、事務従事者時間外手当、人夫賃金、投票所借上料、投票箱送致タクシー代等																																															
期日前投票所経費	10,627	期日前投票管理者及び立会人報酬、期日前事務従事者時間外手当、臨時職員賃金等																																															
開票所経費	3,146	開票管理者及び立会人報酬、開票事務従事者時間外手当、投票用紙読取機候補者ファイル作成、開票会場舗設撤去等業務委託等																																															
選挙公報発行経費	173	選挙公報の新聞折込手数料																																															
候補者氏名掲示経費	40	記載台用氏名掲示印刷代																																															
ポスター掲示場費	1,911	ポスター掲示板撤去・維持管理費用等																																															
事務費	3,247	選挙啓発用看板及び選挙関連事務消耗品等、入場券郵便料等																																															
合計	34,759																																																
<b>3. これまでの成果と今後の方向性</b>																																																	
<p>これまでに執行してきた選挙から得られた問題点等を検証し、執行の正確性と迅速性を高めてきた。今般の選挙についても、これまでの経験と実績を踏まえて、より正確で迅速な執行を目指す。</p>																																																	
《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》				総合評価																																													
<b>4. 財源内訳</b>																																																	
(単位：千円)																																																	
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源																																													
34,759	34,759																																																
<b>【国県支出金】</b> 15款3項1目：秋田県議会議員選挙費委託金																																																	

# 事 業 説 明 書

9 款 1 項 2 目 1 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 総務部 総合防災課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 消防力の充実、強化

【事業名】	消防団員報酬				
【説明項目】	消防団員に支給する年報酬について				
【27年度】	53,340 千円	【26年度】	49,890 千円	【増減額】	3,450 千円

## 1. 事業の目的及び目標

消防団員へ年報酬を支給する。  
報酬額を地方交付税措置額水準まで引き上げ団員の処遇改善を図る。

## 2. 事業の概要

- 委員等報酬 53,340 千円
    - 消防団員年報酬・・・53,218 千円
    - 消防委員会委員年報酬・・・122 千円 (6,100 円×20 名)
- 根拠法令：「大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例」第5条

平成25年12月に施行された「消防団等充実強化法」により団員の処遇改善策を講じるよう求められており、改正により地方交付税措置額水準単価まで年報酬の引き上げを行う。

**国と大仙市の階級比較表**

【国】 (円)		【大仙市】 (円)				
国が示す階級	交付税単価	階級	人数	現行	改正案	増減
団長	82,500	団長	1	86,000	86,000	0
副団長	69,000	副団長、支団長	11	73,000	73,000	0
分団長	50,500	副支団長	16	66,000	<b>69,000</b>	3,000
副分団長	45,500	分団長	45	49,000	<b>50,500</b>	1,500
部長・班長	37,000	副分団長	58	39,000	<b>45,500</b>	6,500
団員	36,500	部長	116	36,000	<b>38,000</b>	2,000
		班長	189	35,000	<b>37,000</b>	2,000
		副班長	31	34,000		3,000
		団員	881	33,000	<b>36,500</b>	3,500

※人数は平成26年10月1日現在(合計1,348名)

## 3. これまでの成果と今後の方向性

防災活動の担い手である消防団員を確保するため、報酬・手当等の処遇を改善し地域防災力の強化に努める。

《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

必要性：根拠法令により、年報酬の支給を要する。  
有効性・効率性：支給額の引き上げにより消防団員の処遇改善が図られる。

総合評価  
(今後の方向性)

改善  
しながら  
継続

## 4. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
53,340				53,340

# 事 業 説 明 書

9 款 1 項 3 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 総務部 総合防災課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 消防力の充実、強化

【事業名】	消防施設・設備整備費				
【説明項目】	施設・設備整備費内容について				
【27年度】	22,326 千円	【26年度】	26,495 千円	【増減額】	△ 4,169 千円

## 1. 事業の目的及び目標

経年劣化した消防施設・設備の更新経費。  
 消防施設・設備等で経年劣化の著しい消防施設（格納庫、ホース乾燥塔）、資機材（積載車、小型動力ポンプ等）、消防水利（防火水槽、消火栓）については、年次計画に従いながら更新する。

## 2. 事業の概要

### ●工事請負費

項目	金額(円)	箇所数	備考
サイレン塔撤去+ホース乾燥塔設置	1,001,160	1箇所	神岡1
ホース乾燥塔設置	1,008,720	3箇所	南外1、仙北2
格納庫+鐘楼解体	675,000	1箇所	南外1
格納庫電気メーター設置	112,362	2箇所	南外2
老朽鐘楼解体	1,350,000	5箇所	大曲5
消火栓設置	3,283,200	3箇所	西仙北2、協和1
防火水槽解体	864,000	1箇所	協和1
小計	8,294,442		

### ●備品購入費

項目	金額(円)	箇所数	備考
小型動力ポンプ	2,225,496	1台	中仙1
小型動力ポンプ付積載車	11,738,268	2台	西仙北1、太田1
小計	13,963,764		

●保険料、手数料、公課費 ……65千円(積載車購入に伴う車両登録等関連経費)

## 3. これまでの成果と今後の方向性

消防団員が使用する消防施設・設備等は、常日頃より定期点検を実施し非常時に備えているが、経年劣化が進行しているものもあり、このことから、消防施設、消防水利や資機材を年次計画により整備し、「災害に強いまちづくり」を目指す。

《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

必要性：消火用設備・資機材については、耐用年数、経年劣化を考慮し更新を要する。  
 有効性・効率性：消火用設備・資機材については、災害時の被害軽減のため必要である。

総合評価  
(今後の方向性)

改善  
しながら  
継続

## 4. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
22,326		13,900		8,426

【市 債】21款 1項 7目：消防施設設備整備事業債

# 事 業 説 明 書

9 款 1 項 5 目 13 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 総務部 総合防災課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 防災体制の充実、強化

【事業名】	総合防災訓練費				
【説明項目】	「災害に強い人づくり・地域づくり」に係る経費				
【27年度】	1,351 千円	【26年度】	0 千円	【増減額】	1,351 千円

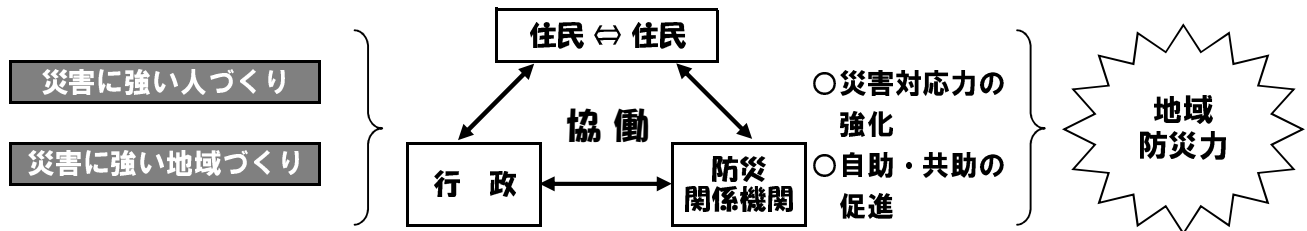
## 1. 事業の目的及び目標

大曲仙北管内旧 14 ヲ市町村毎に毎年総合防災訓練を実施するもので、平成 27 年度は大仙市太田地域を会場に開催される。

大仙市域に直下型の大地震が発生し、特に太田地域の被害が大きいとの想定で、自主防災組織や地域住民と防災関係各機関が連携協力し、災害応急対策等の防災活動を迅速かつ的確に行えるよう総合的に訓練する。

## 2. 事業の概要

**大仙市総合防災訓練（太田地域）の実施 ※ 太田地域…H26年度に自主防災組織率100%を達成！**



- ◆ 訓練実施に係る経費・・・474 千円  
⇒倒壊建物救出訓練等に係る建物製作費，訓練用資機材借上料（事故車両等），訓練用備品（発煙筒・消火器・杭・ロープ）等
- ◆ 訓練事務費等・・・464 千円  
⇒訓練しおり印刷製本費，案内通知費，参加記念品 等
- ◆ 消防団員費用弁償・・・413 千円  
⇒当日の訓練出場手当及び前日の準備作業 等

## 3. これまでの成果と今後の方向性

近年の開催状況と今後の予定

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
開催場所	大 仙 市			美郷町	大 仙 市	
	中仙地域	南外地域	協和地域		太田地域	大曲地域
参加人数	約1,200名	約800名	約1,000名	約900名		

※ 自主防災組織や地域住民等を積極的に訓練に参画させ、市民の防災意識の高揚を図っていく。

《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

近年、全国で甚大な被害をもたらす災害が継続して発生している状況の中で、それら最新の災害事例を取り入れながら、開催地域の地理的な特性も考慮に入れ、訓練種目設定するなど、毎年実施内容を改善しながら実施していく。

総合評価  
(今後の方向性)  
**改善しながら  
継続**

## 4. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
1,351			700	651

【その他】 20款 5項 3目：消防協会助成金

# 事 業 説 明 書

9 款 1 項 5 目 40 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 総務部 総合防災課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 防災体制の充実、強化

<b>【事業名】</b> 災害に強いまちづくり事業費 <b>【説明項目】</b> 「災害に強い人づくり・地域づくり」に係る経費				
<b>【27年度】</b> 17,674 千円 <b>【26年度】</b> 7,266 千円 <b>【増減額】</b> 10,408 千円				
<b>1. 事業の目的及び目標</b> 災害に強いまちづくりを推進するため、防災資機材の購入や防災訓練の活動助成を行い、自主防災組織の活動強化を図るとともに、地域における防災リーダー（防災士）を育成し、市民の防災に対する意識の高揚を図る。また、避難所等に標示看板を設置するとともに、小学校避難所に自家発電機を設置し機能の強化を図る。				
<b>2. 事業の概要</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>災害に強い人づくり</b> ……<b>地域における防災リーダーの育成</b>                      ◆ 防災士研修講座開催委託経費等・・・1,843 千円                      ⇒株式会社防災士研修センターによる研修講座を大仙市内で開催し、防災士30名を育成する。                      [大仙市募集人員：30名] + [研修センター募集人員：20名程度] の合同開催を予定。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>災害に強い地域づくり</b> ……<b>地域を支える自主防災組織の活動強化</b>                      ◆ 自主防災組織への活動経費補助金・・・5,531 千円                      ⇒防災資機材購入補助及び防災訓練活動補助                      ◆ 自主防災組織へのスターターキット整備事業費等・・・1,108 千円                      ⇒新規に設立した組織へ配備する。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>＝ 避難所の明示と機能の強化 ＝</b>                      ◆ 避難所等への標示看板設置経費・・・7,588 千円                      ⇒施設の種類や収容人数等により優先度を定め、40施設に看板を設置する。                      併せて、未設置の施設に簡易標示看板を掲示する。                      ◆ 教育委員会所管避難所への自家発電機設置経費等・・・1,604 千円                      ⇒自家発電機が未配備である6小学校へ配備する。                 </div>				
<b>3. これまでの成果と今後の方向性</b> 各地域での防災出前講座や自治会長等に対する説明会を実施し、市民の防災意識が高まり新規設立団体数が増加傾向にあり、資機材購入や訓練実施に係る補助件数も増加している。 この高まった機運を契機とし、災害時には「自分の身は自分で守る」という自助、「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の意識を広く浸透させ、実践的訓練を通して災害に備える。				
《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 自主防災組織の育成を最重要課題として捉え、各種防災訓練への自主防災組織の参画促進や、各地域での防災出前講座・説明会等を実施することにより、自主防災組織設立の動きを加速化し、一定の組織化を図った。				総合評価 (今後の方向性)  拡大
<b>4. 財源内訳</b> (単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
17,674			8,563	9,111
【その他】 18款 1項 1目：地域振興基金繰入金 8,473 20款 5項 3目：防災士資格試験受験料 90				



